



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGsアクション

宣言

「ありがとうでつながる 太陽っ子」

友達・保護者・地域の方々との関わりから、ありがとうと伝え合う関係を通して、自分たちのできることを考えていく。

計画

- 花いっぱい、HANA-LAND、公園清掃を通して、地域の方との交流を持ち、環境への興味関心を育んでいく。
- アイヌ文化について学んだり、体験したりしていく。
- 食べてアクション SDGs として、給食や栄養教諭の授業からフードロスなど食に関して考えを広げていく。

SDGs アクション

- 花いっぱい、HANA-LAND では、前庭や環状線沿いに花を植える前に、それを見る人のことを想像して、「小学校みんなのため、地域の人のために」と自然に目を向け、一緒に暮らす人々のことに目を向ける活動となった。また、町内会の方々に協力いただき、一緒に植えることで、地域の中の一員という経験をすることができた。
- 公園清掃では、校区内にある公園に向かいゴミ拾いを行った。日頃から自分たちの使う場所を掃除することで、放課後の公園遊びでも気持ちの良い使い方を考えるきっかけとなっていた。また、町内会の方々にも協力していただき、日頃とは違う大人の人と関わることで、「自分」という視野から「地域の一員」へと視野を広げるきっかけとなっていた。
- 社会科で公共の仕事について学んでいく一環として、札幌のごみについて学ぶ機会があった。ごみ収集車の仕組みを見たり、専門の講師の方にお話を聞いた。その後、給食指導やエコに繋げて考えていくことができた。
- 栄養教諭から給食についての授業が行われた。「食べてアクション！SDG's」とともに日頃から給食を作ってくれる調理員さんや運んでくれる方、生産してくれている方を知る機会となった。

次年度の取組に向けて

コロナ過の生活から、徐々に教育活動も広がってきている。来年度は、自分の住む地域から広がってけるとよい。特に校外学習の機会が増えると子どもたちの意欲も学びも向上していくため、活動の幅を広げることができるように考えていきたい。

2 飢餓をゼロに



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを

